

# そぞう 想像力+創造力→∞力

流山市立おおぐろの森中学校

2学年だより 12月号

令和7年12月1日発行

12月に入り、寒さが厳しくなってきました。今年も最後の月になり、1年の締めくくりを行う時期ですが、感染症などにも気を張らなくてはいけません。心身ともに、健康な状態で2026年を迎えることができればと思います。

私たち2学年は、たくさんの行事を通して、集団としての団結力や、個人の成長、最高学年になる者としての準備を行ってきました。今回は、「けやき祭」、「合唱コンクール」、「職業人講話」についての様子をご紹介します。

## けやき祭

今年のけやき祭は、スピーチコンテストから始まり、吹奏楽部の演奏、20組近くの勇志団体が、個性豊かな発表を行いました。体育館は終始盛り上がり、2学年からは楽器の演奏やダンス、漫才を披露する姿がありました。

最後には、生徒会組織の引継ぎ式が行われ、3学年から正式に、2学年にバトンが渡されました。新委員長、新生徒会執行部からは、「これからのおおぐろの森中学校を私たちに任せてください。」という熱い気持ちが伝わってきました。



## 合唱コンクール

なんと、「予感」を合唱した2組が体育祭に引き続き、金賞！2冠を達成！おめでとうございます！銀賞は、「プレゼント」を合唱した6組が受賞しました！指揮者、伴奏者、パートリーダーを中心に、思い出に残る合唱コンクールをつくり上げることができました。しかし、感染症により、各クラスが万全の状態ではありませんでした。その中でも、参加できなかったクラスや欠席してしまった仲間たちの分まで、お互いにフォローし合いながら、本気で合唱している姿は、本当に格好よく、素敵なお姿でした。また一つ、個人としても、集団としても成長できたと感じました。

嬉しさや感動がある一方で、悲しい思いや悔しい思いをした生徒もいます。悲しさや悔しさを感じるということは、一見、マイナスなことかもしれませんのが、思い通りにならなかつた経験は、自分を成長させ、将来の自分を助けてくれると思います。このように、マイナスの出来事も捉え方一つで、プラスの出来事に変えることができます。この変換のことを「リフレーミング」といいます。物事を素直に受け取ることも大切なことです、少し視点を変えることで世界が広がるはずです。

2学年が行う最後の行事は、3月に行われる3年生を送る会です。3年生に感謝を伝え、さらに成長した私たちの姿を見せられるようにしたいです。

保護者の皆様、日々のご支援本当にありがとうございます。12月13日(土)オープンスクールの2時間目に、学年の合唱コンクールを行わせていただきます。6クラス揃っての思いを込めた合唱です。是非、お越しください。



## 職業人講話

生徒一人ひとりが、自分自身の興味がある職業について、お話を聞く機会を設けさせていただきました。お忙しい中、2学年のために、講話をしてくれた保護者の方々、地域の皆様、心より御礼申し上げます。普段は知ることのできない、プロ目線の貴重なお話を聴いている生徒は、真剣な姿勢でメモを取り、たくさんの質問をしていました。また、司会進行や講話終了後の謝辞すべてを生徒が行い、謝辞では、慣れないながらも、講話で学んだことや自分自身のこれからについて、立派に伝えることができました。

講話を聴いて、働くことの楽しさに加えて、大変さや難しさを知ることができたと思います。今回の職業人講話が、少しでも将来の何かのきっかけや糧になると幸いです。



### <やってみよう！～リフレーミング～>

☆ リフレーミング：ある物事に対して、視点を変え、捉え方を変換すること

(例)

・勉強や仕事などやることが多くて、嫌になってしまう。

⇒大変だが、自分の成長に繋がる！

(演習)

- ・最近、うまくいかないことが多いな。もうダメかもしれない。
- ・先生や先輩から、自分ばかり指摘を受けてしまう。
- ・仲のよい友人と喧嘩をしてしまった。
- ・自分と周りの人を比較して、相手を羨ましく思ってしまう。